

第48回全日本大会

2016.11.5~11.6

医事委員会の大会レポートです。
大会2日間、快晴でお天気に恵まれました。



大会前日

会場での医事委員会の仕事は、前日から始まります。
会場へ送った医療器具を受け取り、救護室を作り、医療器具や備品を整えます。



大会日

本大会は、
1日目は、医師1名、医療スタッフ7名
2日目は、医師2名、医療スタッフ9名
で運営しました。

試合が始まると

医療スタッフ全員が試合を見守り、何か起きればすぐ対処できるように、常に連携をとっています。



今回は選手以外で体の不調を訴える方もいました。このように大会全体の医療活動に従事しています。



試合続行が可能かどうかは医師により診断されます。状況により、病院へ救急搬送することもあります。

容態に不安をもつ選手へのアドバイザーとしての役割も果たします。

変な話ですが、救護室が平穏であることが理想です。医療スタッフは選手みなさんの安全を祈るばかりです。

大会が終了して

選手の方々、応援の方々、お疲れ様でした。
負傷された方は、必ず病院等で適切な処置を行って下さいね。

試合診療録

20代前半	神経症状あり	緊急性あり(救急搬送)
20代前半	筋挫滅	緊急性なし
10代後半	意識消失	緊急性あり
20代前半	顎関節打撲	緊急性なし
20代前半	記憶障害	緊急性あり
10代後半	歯脱臼	緊急性あり
20代後半	頭部打撲	緊急性あり
30代	脳震盪	緊急性あり

今回ご協力いただいた医療スタッフの中で、写真の許可をいただいたの方々です。
もしかしたら、行きつけの医院の先生かもしれませんね。



この度はどうもありがとうございました。
また、どうぞご協力をお願いいたします。